Ua Floors®

無垢挽板複合フローリング施工説明書

1. 概要

本製品は、無垢材を挽いた挽板を表層に使用した複合フローリングです。木の質感と安定性を兼ね備え、住宅・店舗等の内装床仕上げ材として最適です。

2. 施工前の注意事項

- 屋内施工専用です。外部や高湿度環境では使用しないでください。
- 複合フローリングは、開梱後仮ならべをしたうえで養生期間を置かずにそのまま施工いただけます。
- コンクリート下地の場合は十分に乾燥させ（含水率5％以下）、湿気対策を行ってください。
- 納品時に、品番・数量・状態を確認し、不具合があれば施工前に確認し、到着した商品に不具合があった場合は、返品・交換をいたしますが、商品の施工後や加工後の返品・交換、張替費用等の負担はできかねます。
- 保管は直射日光・高湿度を避け、水平に置く。地面や壁に立てかけるのは不可
- 床下の換気が不十分な場合、施工後にトラブルが生じる可能性あり
（換気基準：5m以内ごとに300cm²以上）
- 外壁・サッシ設置後、床下コンクリートやモルタルが完全に乾燥しているか確認してください。
モルタル含水率8％以下。

3. 工法別の施工方法

■ 捨て貼り工法（合板下地の上に施工）

(1) 下地合板（12mm以上）を隙間なく施工し、しっかりと固定します。
(2) 本フローリング裏面に推奨接着剤を塗布します（下記参照）。
(3) 目地のばらつきや反りを防ぐため、フローリングの長手方向を互い違い（千鳥張り）に敷設します。
(4) 一枚ごとにフロアネイルまたはステープルで本実の突き上げ部を斜め打ちして固定します。
(5) 端部や壁際には5～10mmの**伸縮隙間（クリアランス）**を確保してください。
(6) 接着剤硬化後、必要に応じて養生を行ってください（通気性のあるシートを推奨）。

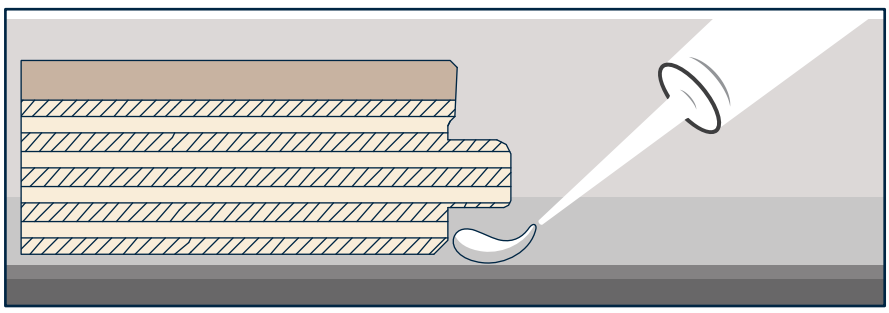
■ 根太張り工法（303mmピッチ推奨）

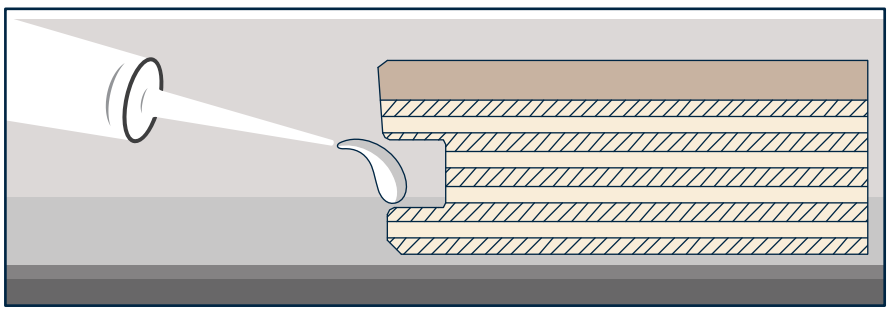
(1) 根太はしっかりと固定し、水平を確認します（根太間隔303mm以下）。
(2) フローリング裏面に推奨接着剤塗布、長辺雄実部を釘で45度に斜め打ちし、根太にしっかり固定してください。
(3) 千鳥張り、伸縮クリアランスを確保して施工してください。

4. 推奨接着剤

以下の接着剤を推奨します（※床暖房なし想定）：

メーカー	製品名	特徴
コニシ	KU928C-X （1液型ウレタン樹脂系）	高接着力、床鳴り抑制
コニシ	PX280C-X （変性シリコン）	弾性◎





※接着剤は現場温度に応じて作業可能時間を考慮し、指示通りに使用してください。

5. 注意事項

仮ならべ

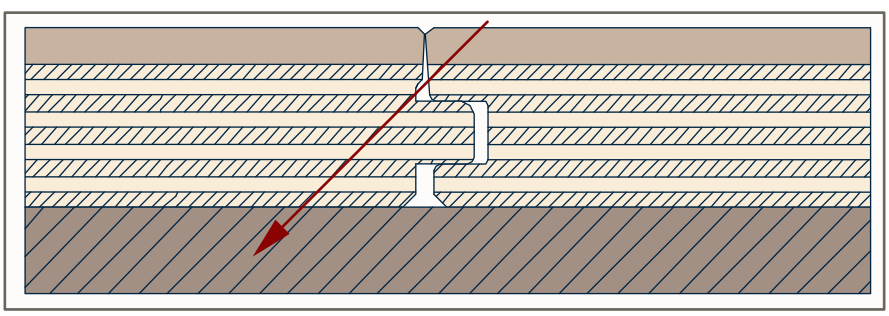
- 天然木特有の色ムラ・木目違いを考慮し、仮並べで色調整してください。

下地処理

- 大引90mm角以上、根太45mm角以上の乾燥材使用。
- 根太：303mm以下、大引：909mm以下、水平を確保。
- 防湿シート（0.1mm以上）を敷設。
- 捨て貼りには12mm以上（根太なし工法は24mm以上）のF☆☆☆☆耐水合板を使用。
- 合板は3mmの隙間を空けて突付け禁止。
- 合板張りも釘と接着剤併用。
- 墨出しして根太位置に釘打ち。
- 合板の含水率正常確認。一度濡れた合板は使用不可。

張合せ・施工

- ブラッドネイル・ステープル釘（38mm以上）使用。
- 長辺雄実部に303mmピッチで斜め45度打ち。
- ステープル針は接着剤付き推奨。
- フィニッシュ使用禁止。
- 長手方向の接合部は0.2mm程度の隙間を設ける。
- カチコミ禁止。



壁際クリアランス

- 壁際：5～10mm隙間。巾木やエキスパンションゴムで隠す。
- 広い空間では更に隙間確保。

その他

- トイレ・脱衣場など湿気が多い場所は反りリスクあり。
- 軽微なサネ欠けは許容範囲。避けて釘打ち。
- 木材特性上、伸縮に伴う小さな床鳴りの可能性。
- 高湿度では吸湿による反りや突き上げが起こる場合あり。